

Subject: 【参考情報】東日本大震災の企業の対応情報 3/31

皆様へ

今回の、地震・津波・原発・停電という「想定外」の複合リスクに、戸惑うばかりです。

● 安否確認システム

おそらく多くの会社で今回大規模に使われたのが、安否確認システムではなかったでしょうか。しかし、これも万全ではなかったようです。システム障害が発生したサービスもあったようです。何回も起動したので、同じような確認メールが複数携帯に入り、返事をするほうも混乱したようです。

平時の訓練はあれほどうまくいっていたのに、今回は・・・となっても、これが実態ではないでしょうか。

余震は安否の対象としませんが、東北以外の地震(長野や静岡)などは対象にする必要があるなど同時発生イベントの確認方法や、携帯電話が広範囲に使えないときの安否はどのように確認するのか、などなど、今後の運用方法を改めて検討する良い機会になったのではないのでしょうか。

○ アンケート 3/31 現在の情報

これらの問題も含め、アンケートを作ってみました。皆様の会社(匿名)で回答できる範囲でご協力ください。結果を皆様で共有するとともに、次回の勉強会で、このアンケートの結果も参考にする予定です。

コンサルやアドバイスする立場の方は、聞いたり相談を受けた内容などを是非お知らせください。可能ならば個別の会社ごとにシートを分けていただけると助かりますが、まとめて書いていただいてももちろん結構です。目的は、さまざまな情報を集めることですので、ご協力をお願いします。

回答の方法は行を追加したり、書式を変えたり、自由にお使いください。全部に回答をいただく必要もありません。お忙しい中、あまり時間をかけずに、ご協力をお願いします。

● 名取市のメンバーさんから続報

(ご自身もご家族も、ほとんど被害がなかったそうです。ご安心ください。)

東北電力は災害発生時でも最大 3 日で全世帯を復旧させると聞いていましたが、こちらの地域で復旧したのは 6 日目でした。

電気復旧までは、ラジオが主な情報源でしたが、同じことの繰り返しで、詳細な情報は得られなかったです。しかし、携帯電話のワンセグが威力を発揮しました。ラジオよりも詳細な情報がバンバン入ってきました。しかしこれもバッテリーがなくなると見えなくなります。やはり電気(電源)をどう確保するかが課題だと思いました。

今日、沿岸部に様子を見にいってきました。海岸線から3km がデッドラインでした。添付の写真 1-1,2 はその3km 付近で撮った写真です。道路はかたづけられています。漁船がここまで流されていました。

(別ファイル 画像 参照)

写真 2 はもっと海岸よりで跡形もない状態でした。

写真 3 は海岸線より 6km はなれたバイパスの写真です。ここは普段通りの生活をしています。

3km が生死の境で、海岸線はどうしようもない状態でしたが、過去の歴史(例えば 1896 年の明治三陸地震)を遡ってリスクアセスメントを行えば、何か対策ができたのかも、とそういう思いがうかびました。

リスクアセスメント、BIA をどこまで、どのようにやるかが今後の課題のように思います。

● 和田先生から、セミナーがYoutubeにアップされたそうです。

2011年3月19日に開催されました、復旧現場作業者のための呼吸用保護具(防護具)の適正使用に関する緊急特別セミナーの様子が Youtube に掲載されました。

<http://www.youtube.com/user/fittest2009#p/u>

お時間の限られた方は全体のまとめだけでもご覧ください。

<http://www.isl.or.jp/jishin-mask.html>

また、セミナーのまとめや関連情報はこちらでご覧になれます。

復旧作業に従事する人や管理者が知っておきたいほこり(粉じん)・アスベストに関する 7 つのポイントもご覧いただけます。

<http://www.isl.or.jp/jishin-mask.html>

● パワハラ

地震当日、電車が止まり帰宅が困難になった状況で、ある会社では、部長以上の役員はさっさとタクシーで社員に黙って帰ってしまったそうです。夜になり電車が動き始めたという情報で、管理職は女性を含む社員をすぐに帰るように指示を出して、自分も帰ってしまったそうです。しかし、動いている電車は一部だし駅の大混乱がTVで映されているし、このままでは危険だと判断している社員は残されたままでした。社員は自己判断で、そのまま会社で夜をすごしたそうです。その会社のビルは免震構造でした。

翌日泊まった社員たちは、TVやネットの情報を頼りに、それでもかなり無理をしてそれぞれ自宅に向かったのです。その週末は、管理職からなんらの安全確認もなかったそうですが、月曜日の電車の混乱で出社できないと報告した社員に向かって、なぜ出て来ない、と怒鳴り散らして、すぐに出てこい、と強烈なパワハラ発言をした管理職がいたらしいです。その管理職は、前日に社員がどのようにして帰宅したのかなんて、一言も聞くこともなかったそうです。(その後、役員から指摘をされ、謝罪したそうですが。)

そんな会社が本当にあったのです。ある有名な会社で、官庁の仕事を主にしているそうで、官庁に提出することが優先で、社員の安全は二の次らしいです。